

施策番号	0702		
施策名	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）		
概要	国際的・全国的規模の競技大会の開催・振興に向けて、西京極諸施設の競技・観戦環境の充実、マラソン等の総合スポーツイベントの開催、プロスポーツへの支援の促進に取り組む。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関する主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 プロスポーツ・全国規模大会の開催日数(日)	a	a	96	114	95	120.0%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	20 3.9%	74 14.5%	157 30.8%	140 27.5%	119 23.3%	510	d	
2 -								-
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
		市民生活実感調査総合評価						d

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					26 年度	C
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	d		
(重み付けの理由) 市民がトップレベルのスポーツに身近に触れることを目指す施策であるため、市民の実感を重視する。						25 年度	C
(原因分析) 【客観指標】 プロスポーツ・全国規模大会の開催日数は、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】 広報・集客が十分でないため、トップレベルのスポーツを身近に感じている方が、前年度と同様に2割に満たない状況であり、前年度に引き続きd評価となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	京都スポーツの殿堂	7,090	7,287	悪い	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 積極的な広報活動等により、プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れていただく機会を提供する。
- 大規模大会でのさらなる利用を促進するために、老朽化した既存設備等の計画的改修に向けた取組を推進していくとともに、魅力ある施設にするための大規模改修も可能な限り実施していく。

施策名	0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）				
指標名	プロスポーツ・全国規模大会の開催日数(日)					
担当課	市民スポーツ振興室	連絡先	366-0168			
1 指標の説明						
プロスポーツ及び競技範囲が全国に及ぶ大会の開催延べ日数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
市民が、プロスポーツをはじめ、トップレベルのスポーツに身近に触れることができていることを示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	96	114	18日増	95	20年度の数値（76日）と32年度に土日祝日にどこかで何かが開催されている状態（120日）を目標として各年度の目標を等比的（約3.9%増/年）に算出	120.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値		120日	32年度	95.0%		
					32年度に何らかの大会が土日祝日に開催されている状態（120日）を目標とする。	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満		当該指標については、目標値達成以上をa、以下を10%刻みで基準を設定した。		25	26	27
				a	a	a